

一人ひとりがリスクを自覚しよう。
自分自身が自由であるために、
自分の身を守るために、

一人一人がリスクを負うということがまずベースにあるべき。行政が全てカバーしてくれると期待しているのは日本人だけ。海外ではOWNリスクが原点にあって、それプラス行政。メンタリティを変えないと、今の日本人の感覚は、一番リスクに弱い。(④堀場)

「より強くより完璧な」という発想の限界を世界中が感じており、「予測できない前提で、危機が起こった時にどう対処するか」という考え方で、**個人が中心となって如何に対応力を高めるか**が鍵。(④林)

インドの子供達は、ハザードマップを作ることで、自分が不確実な世界に生き、どれぐらい危険性があるかを、身をもって理解をした。それは**不確実性をリスクに変えた**ということ。専門家が偉そうに言っても心に響かないが、**自分で作業をすると体感できた**のだと思う。(④安田)

実はこの世が、白から黒のグラデーションになっていて、**自分で少しでも白に近いグレーを選ぶ能力をつけるといことが本当の安心**なのではないかなと思っっているのです。(④大木)

リスクをなくし切ることとはできない。**リスクとリワードを勘案し、各自が主体的に決定していく**態度をどう作るか。ただ一方で、そういう自己決定的になり切れない人を社会としてどう包含していくのかも考えるべき(④大屋)

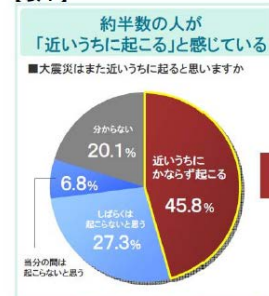


インドで子ども達がハザードハンティング(左上)、マップ化に向けた議論(右上)を通じて、ハザードマップが完成(下)
(出典:第4回懇談会 大木聖子さん資料)

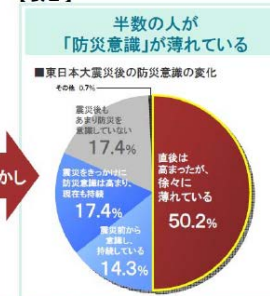


徐々に薄れてきていませんか? 「防災意識の変化」

【表1】



【表2】



半数近くが近いうちに大震災が起こると考えている一方で、防災意識は徐々に薄れてきている

(東京圏・関東圏世帯の2104世帯、2013年7月・パナソニック調べ)

徐々に薄れる防災意識
～大震災が起きても誰かが助けてくれる?
(出典:第4回懇談会 事務局資料)